

	チェック項目	はい	どちらでも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			
	② 職員配置数は適切であるか	8			制度に基づいた人員配置を守っている
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			・広いトイレやエレベーター、手すりがあり、必要な時に必要な人が使えるようにしている ・同じ建物に高齢者の施設もあり、エレベーターでアクセスできる設備がある
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		・イベントや行事では、計画をたてて取り組み、実施後は振り返りシートを用意して各自で考えて記入後、ミーティングで今後の取り組みについて改善点と継続する事を明らかにしている
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・昨年の卒会式についての事後アンケートで出た意見を参考にして、今年度の実施内容を決めている ・「先輩に聴いてみよう」という勉強会后アンケートは、講師として登壇された卒会生保護者に伝えている、また今後にどのような勉強会をしたいか要望も聴き取っている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		・自己評価と保護者評価の結果は、各家庭に配布後にホームページに記載している(法人内にも回覧し周知している)
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		・第三者評価は受審していないが、外部アドバイザー等がミーティングに参加することで支援や業務のアドバイスをもらっている
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・管理者にどんな研修が必要か見極めてもらい参加できている(常勤、非常勤同様) ・常勤職員だけでなく、パート職員も十分に研修の機会が与えられている ・コロナの為、機会は以前より少ないがオンライン研修等で工夫されている ・定期的な研修の機会があり、職員のニーズに応じて多様な研修が受けられるようになっている
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・ストロングポイントから支援計画を作成している、ストロングポイントは全職員で出し合っている、子どもや保護者にも毎回ニーズを聴き取っている ・子ども及び保護者からニーズや思いを聴き取り、職員間でストロングポイントの共有、話し合いを通してアセスメントをし、計画を作成している ・支援計画やモニタリングの面談では、児童本人も同席できるようになっており、保護者と共に内容を確認して同意を得ている

適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		5	<ul style="list-style-type: none"> ・発達を評価するようなアセスメントシートは用意がないが、事業所での生活に必要な評価がわかるような共通のシートを用いて、個人情報を整理し支援に活用している
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・各行事は担当きまっており、複数名で話し合って計画を立案している ・系の活動は複数の職員が担い、話し合いを重ねて様々な活動がすすめられている
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことが経験できるように、常に子供に寄り添ったプログラムを考えている ・外遊び、散歩、中遊び等を織り交ぜて日々の遊びのプログラムを作成、子ども自身が過ごし方を選択する事で幅も広がる ・支援の過程で子どもの様子に応じて内容や進捗具合を柔軟に調整している
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことが経験できるように、常に子供に寄り添ったプログラムを考えている ・外遊び、散歩、中遊び等を織り交ぜて日々の遊びのプログラムを作成、子ども自身が過ごし方を選択する事で幅も広がる ・平日は年中行事及びイベントのスケジュールを組んで支援している、長期休業期間には、バリエーションに富んだ計画をたて、子どもの適性に応じた役割を与え実行している
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップを基本としてその子の状況に応じた支援計画を立てている、個々の様子により個別活動と集団活動を無理なく組み合わせチャレンジできるようにしている(トライ&エラー) ・子どもの様子、体調を見ながら日々の支援計画を立てている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・時間差勤務のため、全員が集まったミーティングは行えないが、必要に応じて支援前にスタンディングミーティングを行っている ・「1日メモ」という情報共有ツールを用いてその日の注意点や個別支援の留意点を共有している ・「1日メモ」は、一人ひとりが目を通してその日の活動内容を確認し支援の予測を立てている、不明なところは相談している ・その日のスケジュール表が作成され、その日の職員の役割分担が確認できる ・前日、前々日の児童の様子、環境の確認もその「1日メモ」にて確認できる

適切な支援の提供	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌を書いたの振り返りは必ず行い、職員間で閲覧する事が約束になっている、気づいた点があれば数名で集まり打ち合わせをすることもある ・必ずできているかというと、そうではないが、今後そのような取り組みを強化して自然に話せるような環境にしたい ・その日の気づきやトラブルについては職員間で共有し、振り返り、場合によっては話し合いを行っている ・気になった出来事等を、その日に即座に共有できる環境がある
	⑪	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の子どもの様子を書き留める事と、「ヒヤリハット」「ニコリホット」「インクルーシブ」の実践を残し、良かった点、改善点を次の支援に活かしている ・毎日の記録を複数名で取り、問題があった時は共有し翌日の支援につなげている ・ヒヤリハット及びニコリホットに関しては、まとめてみんなで確認し、問題点の改善に努めている ・主観、客観の記録が入り混じってはいるが、読み返して分析できる情報として重要視されている、曖昧な記載となることもあり反省している
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画に見直しの必要性を判断しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに検証し、計画の見直しを行い全員で共有している
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベントや、日常の中でのグループワークや集団遊びも含めて様々な活動が提供できるように工夫している ・長期休みには職員が講師となりサークル活動が盛んに行われ興味関心及び意欲を育むプログラムが展開されている
関係機関や保護者と	⑭	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭及び移動支援事業所とのサポート会議には直接児童と関わっている職員が参画できるように調整している ・事業所の呼びかけで開催する場合は非常勤職員も参加しやすくしている
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの重さにとらわれることなく、学校と連絡調整を行っている ・宿題の内容等の日々のことから、下校時間の確認や行事予定についても情報交換をしている ・学校でのトラブルについて、学校側から連絡が入ることもあり大変ありがたい、子どもの様子を家庭、学校、放デイで共有する事で、子どもの安全や安心が守られている ・管理者が積極的に学校の面談に同席し、学校と事業所の顔の見える関係が作られている
	⑯	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	1

の連携

⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・就学前に職員が園に出向き、様子を観察させていただいている、また情報共有もできている ・同法人の子ども園との情報共有が盛んにおこなわれている
㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービスから所外福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・電話でのやり取りや書類を作成して提供する(家庭に了承をとる) ・就学前だけでなく、退所についても情報共有に努めている
㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の開催がある場合には、積極的に参加者を募り、シフトの調整を行っている ・外部アドバイザーに毎月のミーティングに出席してもらって専門的な助言を受けている
㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・常にある(事業所の強みの一つである) ・隣接している学童保育と生活を共にしている ・同法人で運営されている学童保育が隣接している為、活動を共有している ・日常的に交流している
㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援事業所連絡会に出席している ・管理者が障害とくらしの支援協議会のこども部会の委員として活動している
㉕	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、面談、メール、電話、お迎えの時に話をしたり様々な方法で取り合っている ・連絡帳の活用やお迎えの時に保護者との会話を通して、その日の様子等伝えあっている ・連絡帳のやり取りとお迎え時の会話の中で情報伝達を行い、保護者の安心感が高まるようにしている ・積極的に家庭と連絡を取り、情報を伝えあえる関係づくりに努めている
㉖	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の方などを事業所にお招きして、保護者参加型の勉強会などを開催している
㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めの顔合わせ会にてこれらの事が表記されている「きりんグループのお約束」を配布し、一緒に読み合わせをして説明している ・入会時に必ずしている ・入会時および年度当初の集まりの時に丁寧に説明している

保護者への説明責任

保護者への説明責任

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・随時、必要に応じて面談を行う(話ができるように整えている) ・保護者からの相談及び常日頃の会話からでも、必要な助言を行い支援している ・保護者同士が顔見知りとなる機会を提供し、家庭同士がつながる事を促進している ・家庭からの相談にいつでも応じる心構えが浸透しており、面談の機会も設けられている
③②	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接している学童と合同運営の保護者会がある(準会員と正規会員が選べるシステムとなっている、家庭の状況に応じて選択できる) ・保護者を含む活動やイベントがあれば、保護者同士が知り合える(支え合う)ように配慮している ・年度初めには「顔合わせ会」「新入会歓迎会」があり、夏のイベントや秋のイベント、「クリスマスの仕事会」、保護者参加の「クリスマス会」、子どもの成長をみんなで祝いする「卒会式」等々がある ・「中学校見学会」「先輩に聞いてみよう」等の勉強会や「大人の茶話会」と称して保護者座談会も開催している ・保護者同士の繋がりを意識した親子イベントなどを定期的で開催している
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に関する窓口と解決責任者が定められている、保護者にも契約時に説明している ・苦情、或いは適切でない出来事があった場合、迅速に事実確認をしてより良い対策をたて、スタッフ間で事実を共有している
③④	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から家庭に向けて会報紙を発行している「アカシアの木」がそれにあたる ・今まで行っていた、行事ごとの報告掲示も継続している・写真使用の了承を得たうえで掲載 ・月に一度、会報紙「アカシアの木」を発行し、長期休業期間や行事の度に内容の報告がなされている、その中には、支援の中で大切にしている事や行事までの取り組みの過程も盛り込まれている
③⑤	個人情報に十分注意しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルは子どもの目に触れない部屋にて保管している、また、扉付きの棚に入れている
③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが理解しやすい方法をスタッフで話し合い、試行しながら情報伝達のための配慮をしている ・コミュニケーションツールとして小さい絵カードを用意している、職員は必要に応じて使用できるよう携帯している

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・平素から地域住民の見守りと協力が得られている ・クリスマスには地域でお世話になっている方々をお招きして一緒にお祝いをしている(身近に感じてもらえるように、一緒に成長を見ていただけるように…という意図もある) ・クリスマス会への積極的な招待や月に一度の「おやつ買い」では地域の商店にお菓子を買に行くなど日常的な交流がある
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の「安全係」を中心に職員全体で諸々のマニュアルを制定している ・1年に一度は見直して意識的に活用している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・制度に基づき、年に2回以上の地震、火災消火訓練を実施している ・毎回、職員及び児童と振り返りをして、訓練が積み重なるように話し合いの時を持っている(防災教育に力を入れている)
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修に職員が参加している ・年に一度、人権擁護虐待防止に関するセルフチェックシートを一人ひとりが取り組んでいる(法人内の虐待防止委員会の働きかけ) ・法人内で「虐待防止・人権擁護」についての研修が開催される(3月予定)
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束についてのマニュアルや記録用紙の用意はあるが、現時点の利用児には該当する児童がおらず活用はしていない ・該当児童があった場合には家庭に説明し計画にも記載する事となる
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	1	7		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書は求めているが、保護者とのやり取りで対応している・現在は食物アレルギーを持つ子どもは在籍していない
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを取りまとめる係が決められており、中心となって作成している ・係(安全係)が中心となって集計している、気になることはミーティングで話し合い、より良い安全な支援につなげている ・係(安全係)が、ヒヤリハット、ニコリホット、インクルーシブ…な支援の集計を日誌から拾い上げて集計している、共有している